

調査団報告書

No.158 (2026.1)

調査内容

2025年は「今年の漢字」が「熊」に決まつたくらい熊に関するニュースが多かつたけど江戸時代の名古屋ではどんな野生動物が出没していたの？

調査手順

まずインターネットで「江戸時代 名古屋 野生動物」と入力して検索してみます。するとJ-STAGE(科学技術論文を公開しているサイト)の「江戸時代尾張国における哺乳類の文献記録」という論文がヒット。これを読むと、名古屋市内で最もよく目撃されたのはニホンジカ。次がアザラシ類、そしてクジラ類の記録まで！当時の名古屋は熱田以南が海だったため、海の動物が迷い込んでいたようです。この中で一番気になったのがオオカミの記録があつたこと。

次にレファレンス協同データベース(全国の図書館で構築されている調べ物相談(レファレンス)のデータベース)で「名古屋 オオカミ」と入力して検索します。すると、「名古屋周辺にオオカミが生息していたか知りたい。」という質問がヒット。回答の参考文献を読むと昔の名古屋近郊ではオオカミが人を襲ったり、狩りの途中でつかまつたりしていたらしく、かなり身近な脅威だった様子。現代の私たちが熊を怖がるのと同じように、江戸時代の名古屋の人たちはオオカミの出現にビクビクしていたようです。

調査結果

熊の記録こそありませんでしたが、オオカミによる被害が深刻だったことが分かりました。今も昔も、野生動物との共存は人間にとて大きな課題のようです。

今回の調査で使った資料

『江戸時代尾張国における哺乳類の文献記録』(なごやの生物多様性 2017年4巻p.71-81)

名和明／著 野呂達哉／著

『レッドデータブックなごや 2025 動物編 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物』

名古屋市環境局環境企画部環境企画課／編集 名古屋市環境局環境企画部環境企画課 2025

『狼、暴れ候 日記に見る尾張藩事件簿』 新家猷佑／著 新風舎 2005

『名古屋叢書 続編 第9巻 鶲鵠籠中記 1 復刻版』 名古屋市教育委員会／編 愛知県郷土資料刊行会 1983

『名古屋叢書 続編 第11巻 鶲鵠籠中記 3 復刻版』 名古屋市教育委員会／編 愛知県郷土資料刊行会 1983

